

ヨド倉庫

組立説明書

SOB-5857型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-5857Mを基に説明しております。

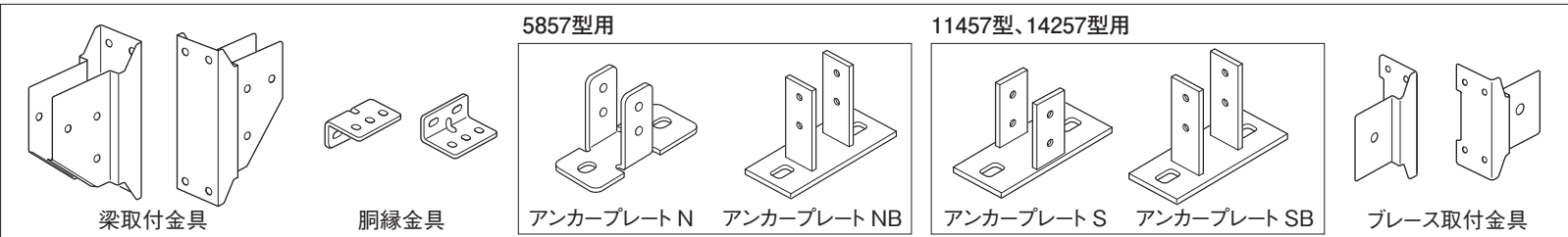
※組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。

※SOB-11457型・14257型の場合は、本説明書と補足説明書を参照して組み立ててください。

※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

1 前工程（1）

〈使用金具一覧〉



①梁取付金具を柱の上部に取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※Hタイプの場合は下図と取付位置が異なりますので注意してください。
(柱の上端より806mm下の位置になります)

②胴縁金具を柱のタップに取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)

※11457型、14257型の場合は図aのように取付け、4段目からは図bのように取付けます。

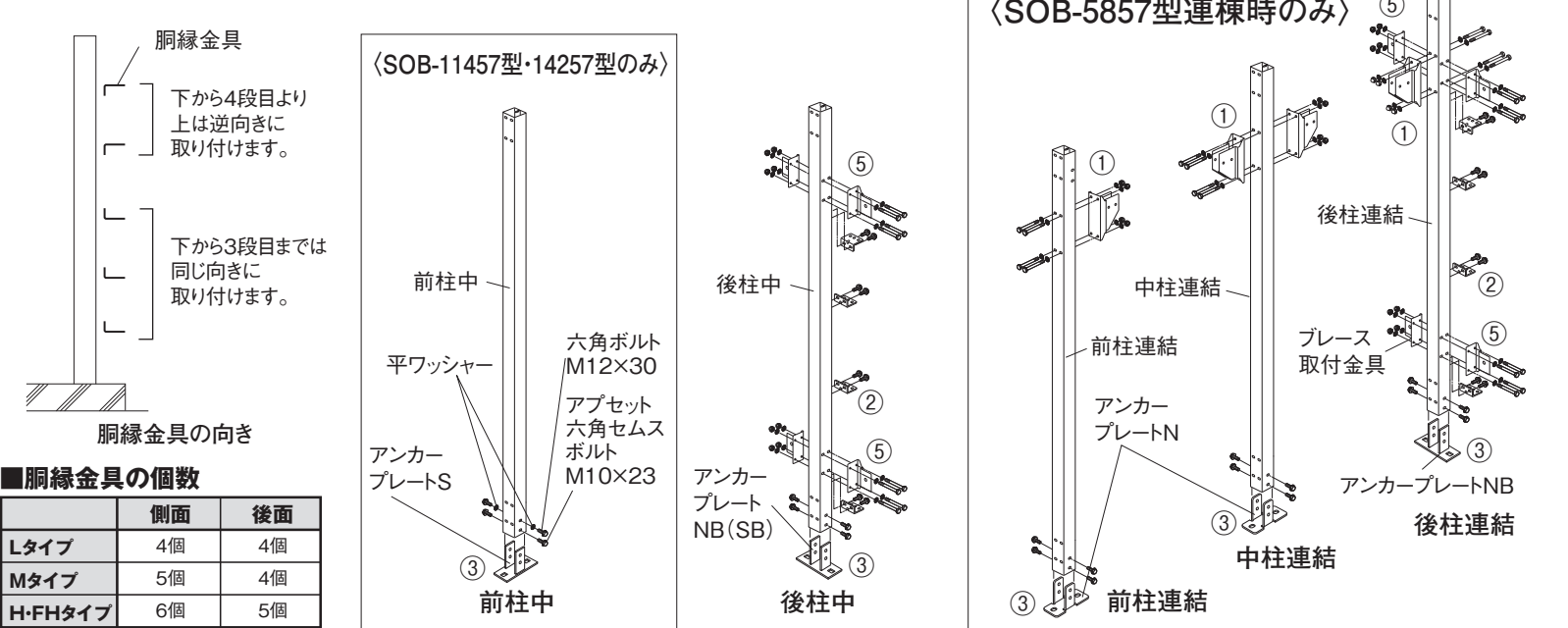
③アンカープレートNBを後柱中及び後柱連結に取付け、それ以外の柱にはアンカープレートNを取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×23)

※11457型、14257型の場合はアンカープレートS、SBを使用します。
(上の2つのボルトが六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用になります。)

④プレース取付金具を図のように前柱右(左)及び中柱右(左)の下部に取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

⑤同様に後柱の上下にもプレース取付金具を取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

※プレースの付かない所にはプレース取付金具は不要です
(Bプレースの項目にある配置を確認ください。)



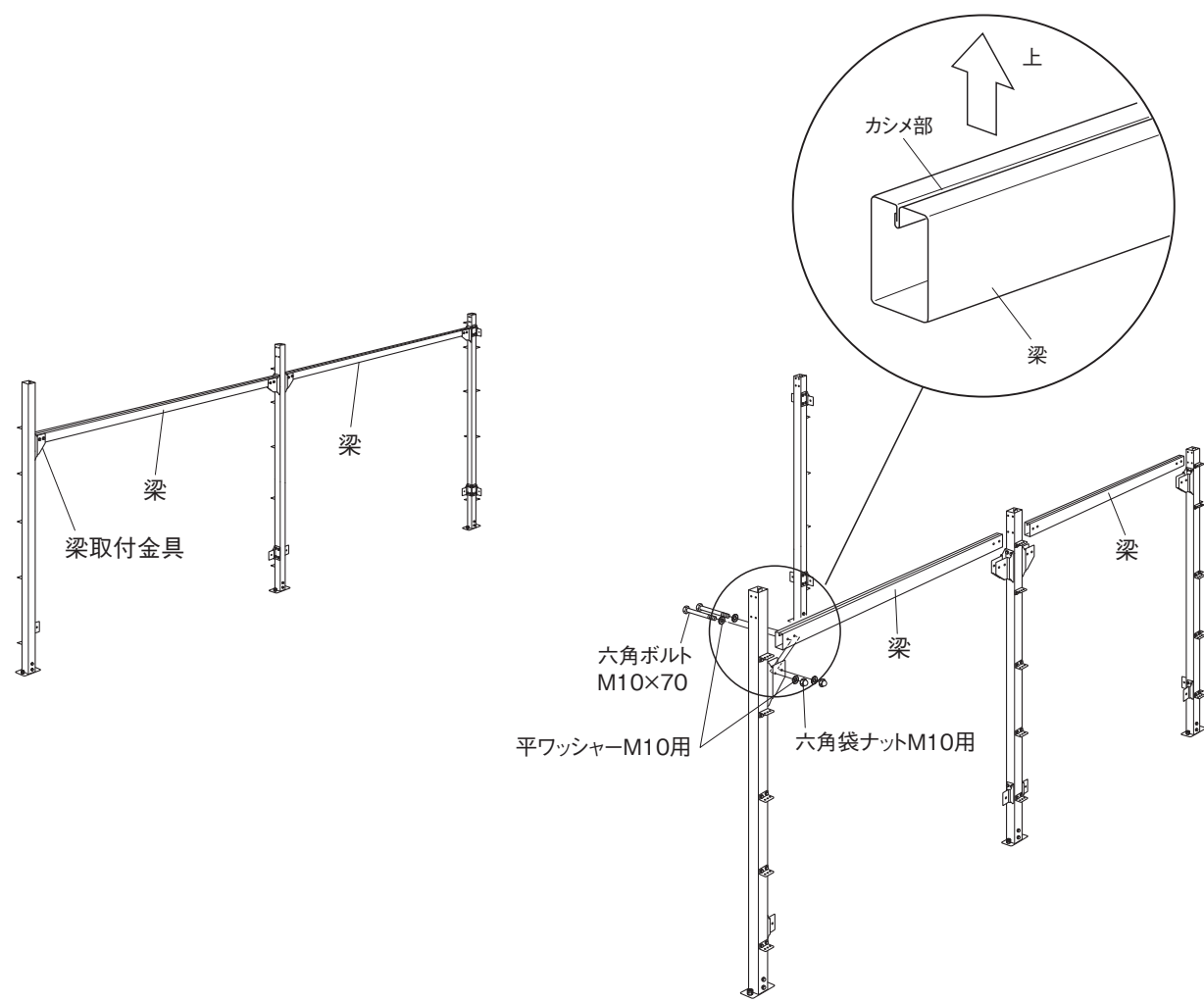
4 梁

①各柱に取付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。
(六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。

※11457型、14257型は両端のみに入ります。

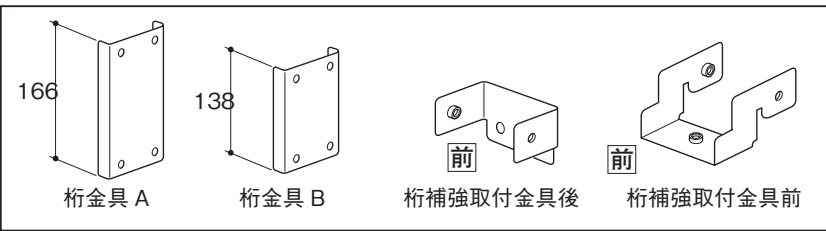
下屋付きの場合、梁を止める前に前柱に下屋用コーナーカバーと束金具を取付けてください。



5 1 桁

SOB-11457型・SOB-14257型の場合は、補足説明書を参照ください。

〈使用金具一覧〉



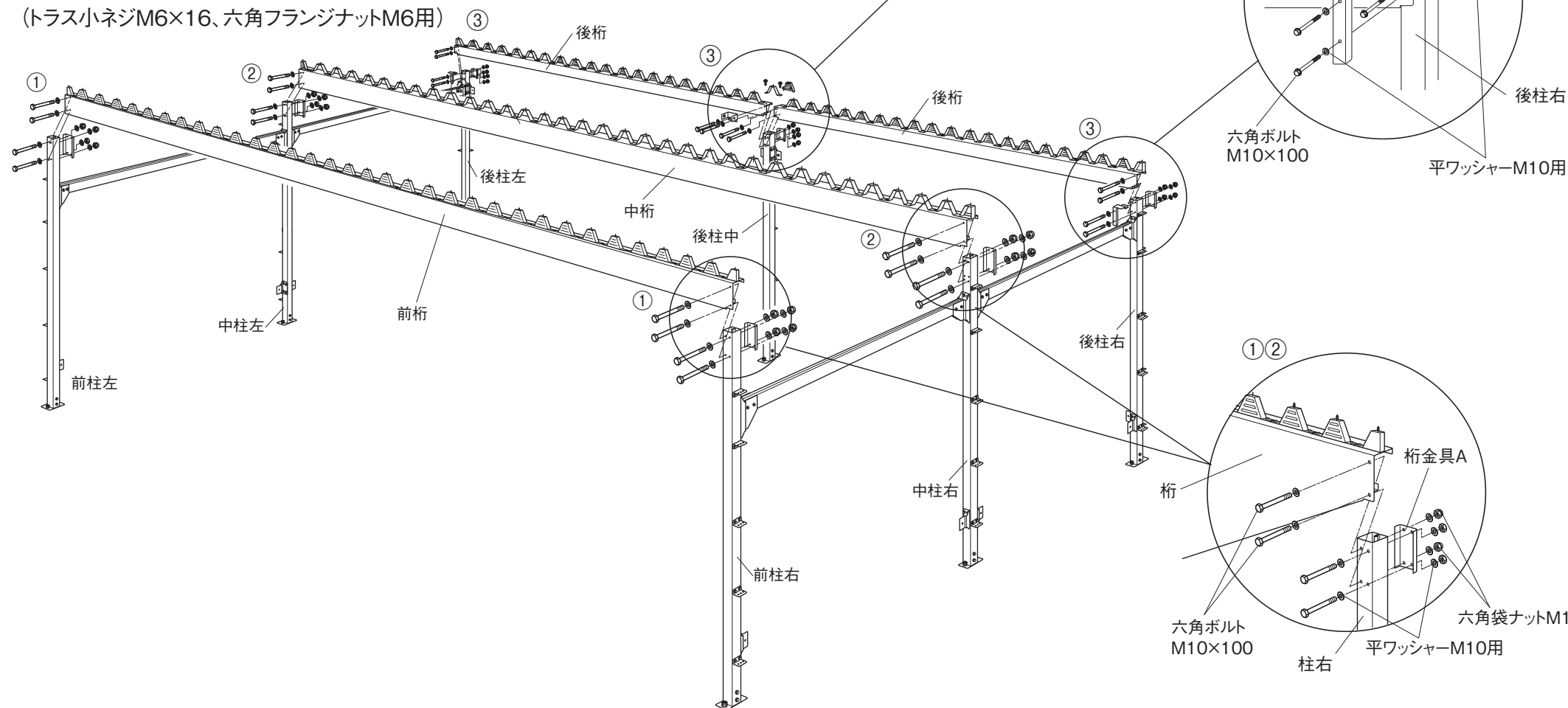
①前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

②中桁を中柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

※前桁・中桁共連棟の場合は、桁のつなぎ目部分に端パネル受フレームAと普通面戸を取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

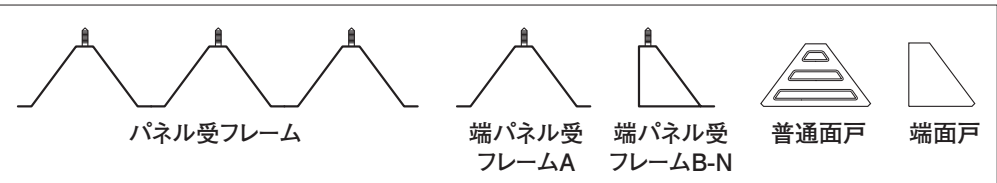
③後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用平ワッシャーM10用)

後柱の左右については端桁金具も取付けます。
桁のつなぎ目部分は桁補強取付金具後も同時に取付け、端パネル受フレームAと普通面戸も取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)



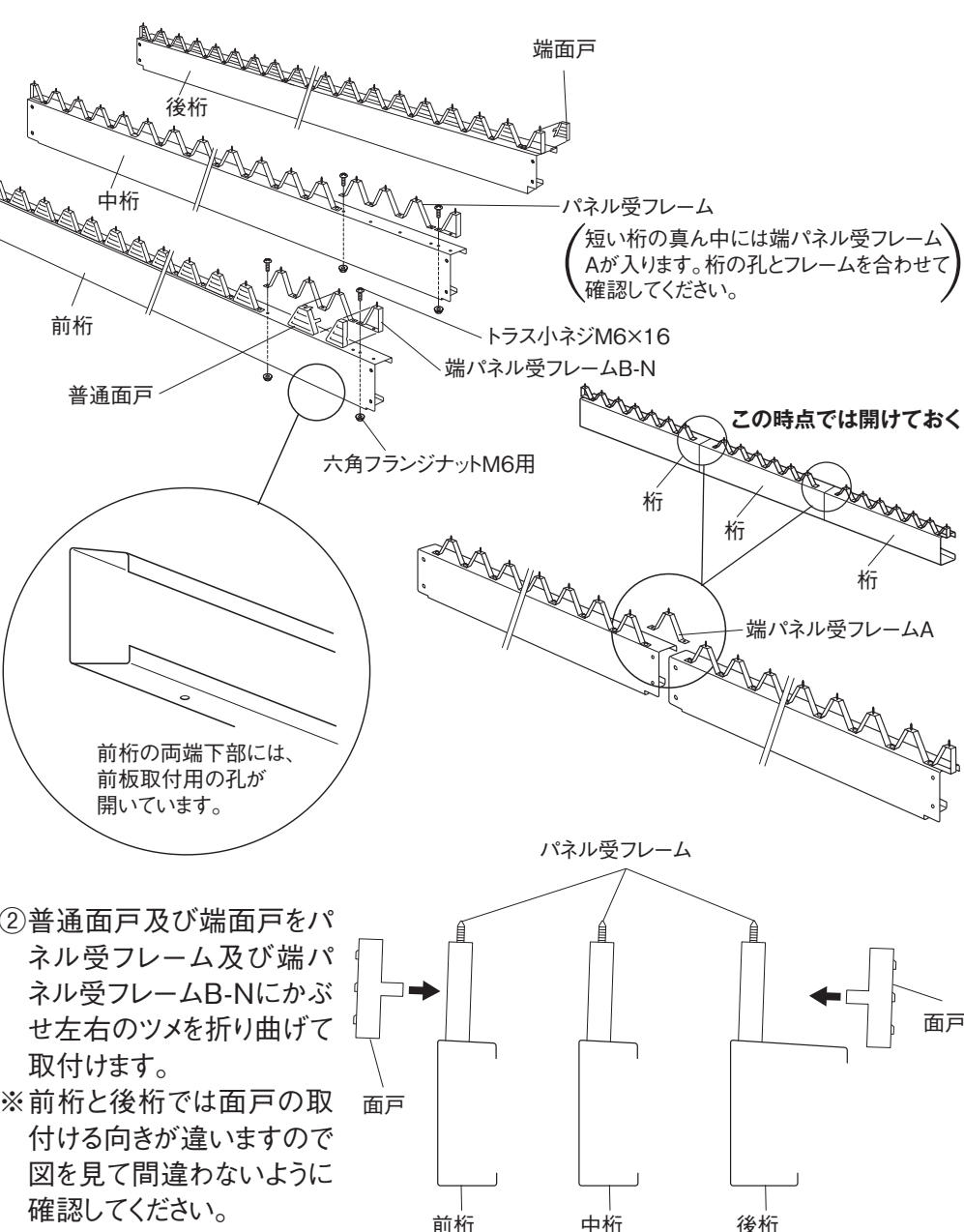
2 前工程（2）

〈使用金具一覧〉



①パネル受フレーム及び端パネル受フレームを桁に取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

※桁のつなぎ目部分は桁を柱に取付けた後、端パネル受フレームA及び普通面戸を取付けますのでこの時点では取付けません。

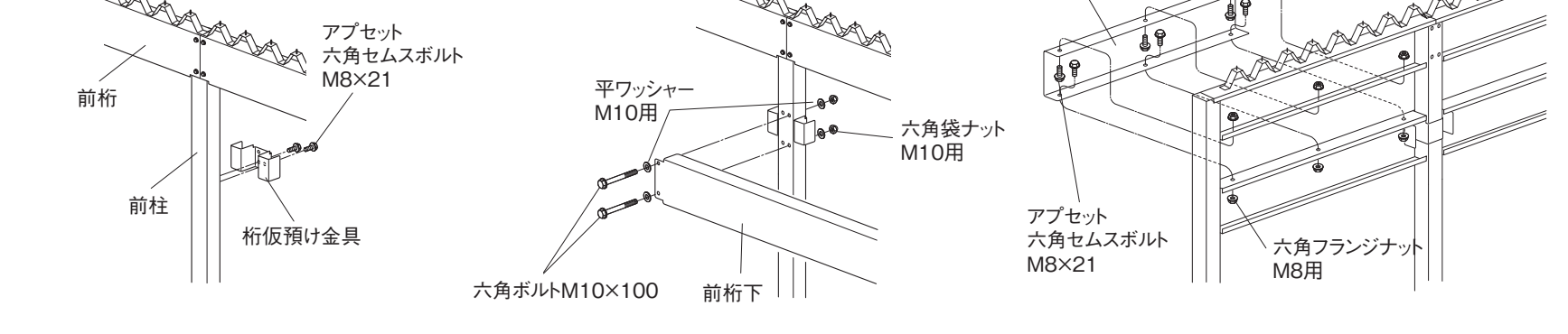


Hタイプの場合

①桁仮預け金具を前柱に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)

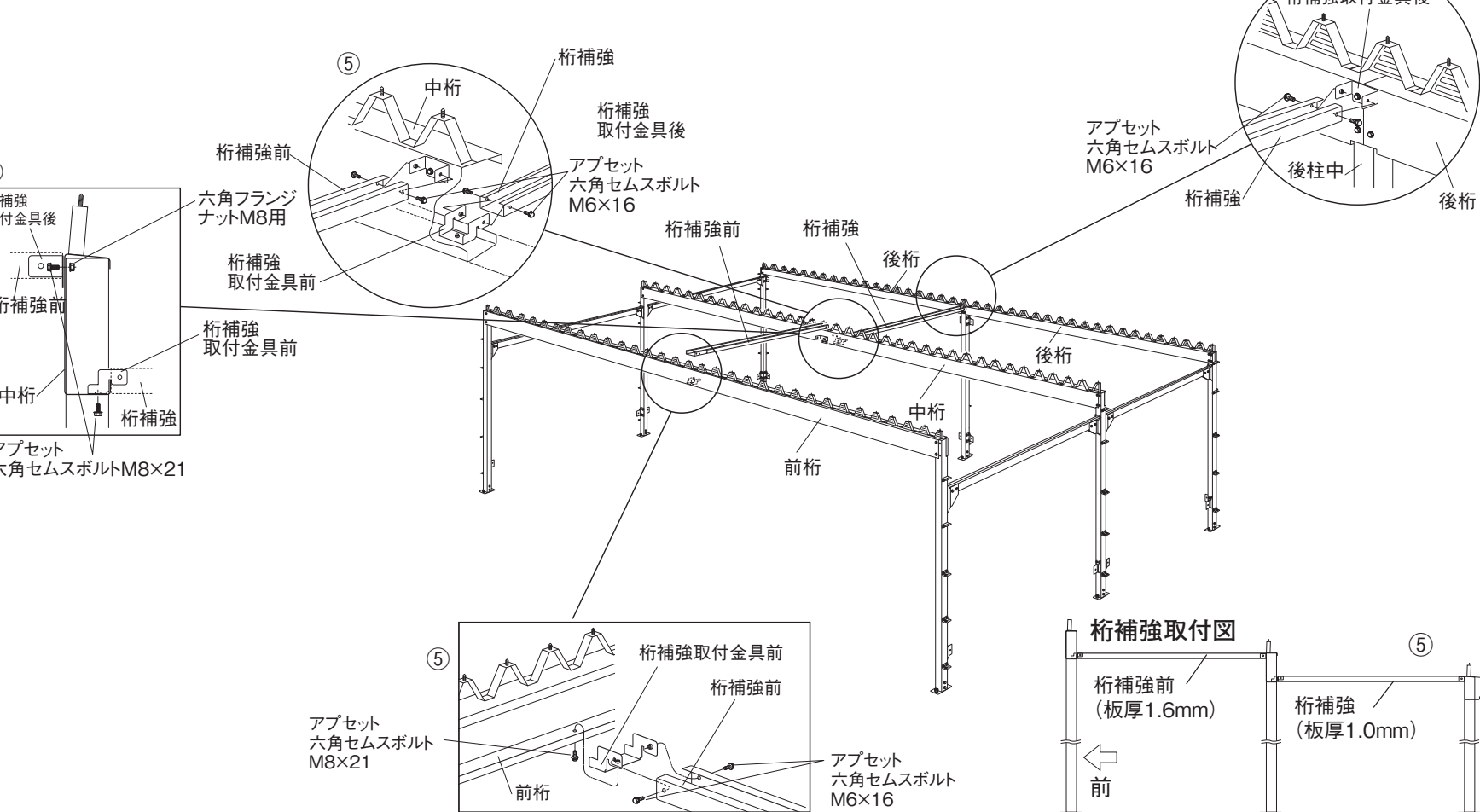
②前桁下を桁仮預け金具に仮預けし、取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

③前板上を取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)



④桁補強取付金具前・後を中桁に図のようにボルト止めします。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)

⑤桁補強取付金具前を前桁に取付け、下図の様に桁補強前(桁補強)で前桁(中桁)と中桁(後桁)につなぎます。
(アプセット六角セムスボルトM16×16)



ヨド倉庫

組立説明書 2

SOB-5857型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-5857Mを基に説明しております。

※**組立説明書Ⅱ・Ⅲの順で組立てください。**

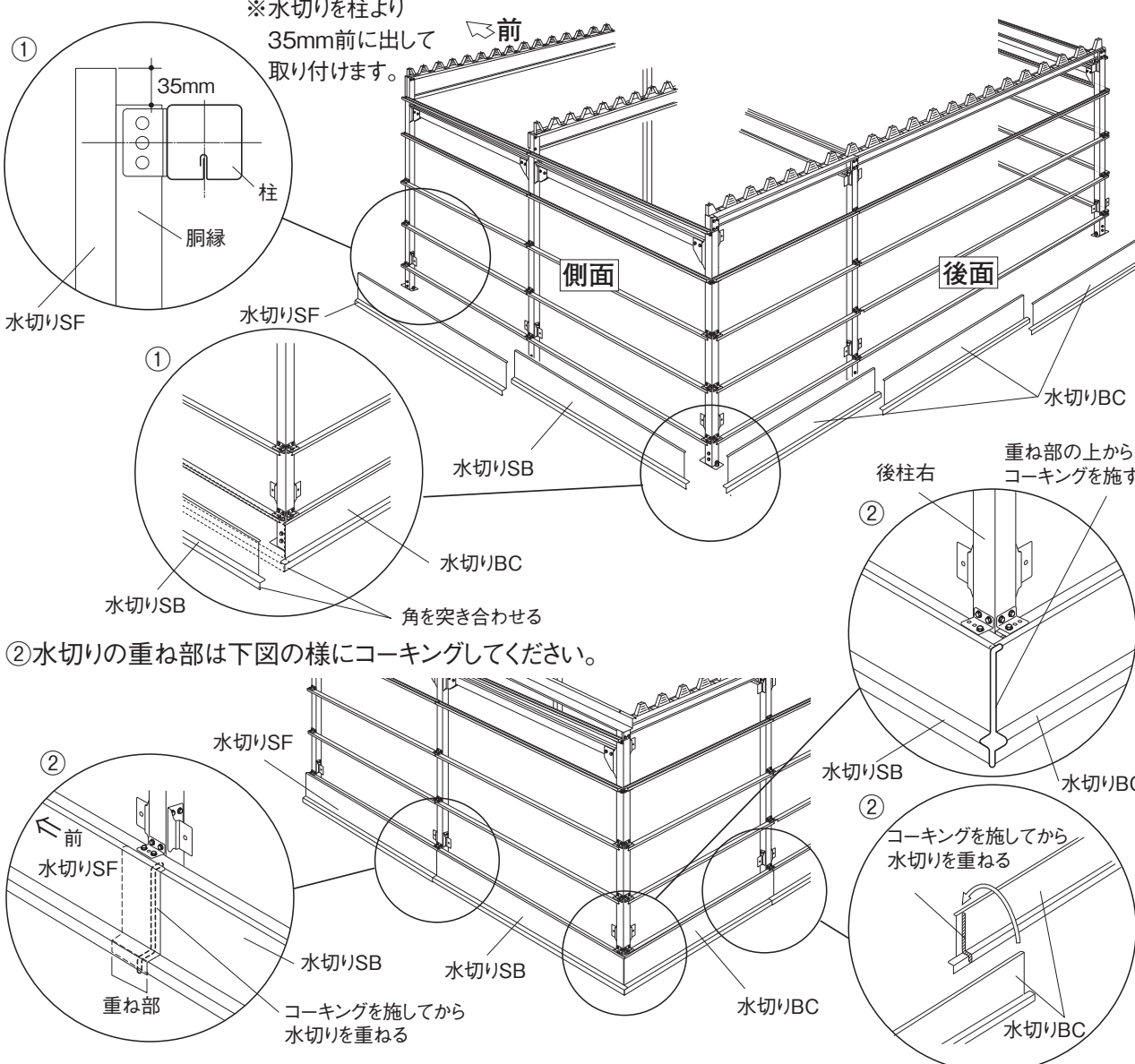
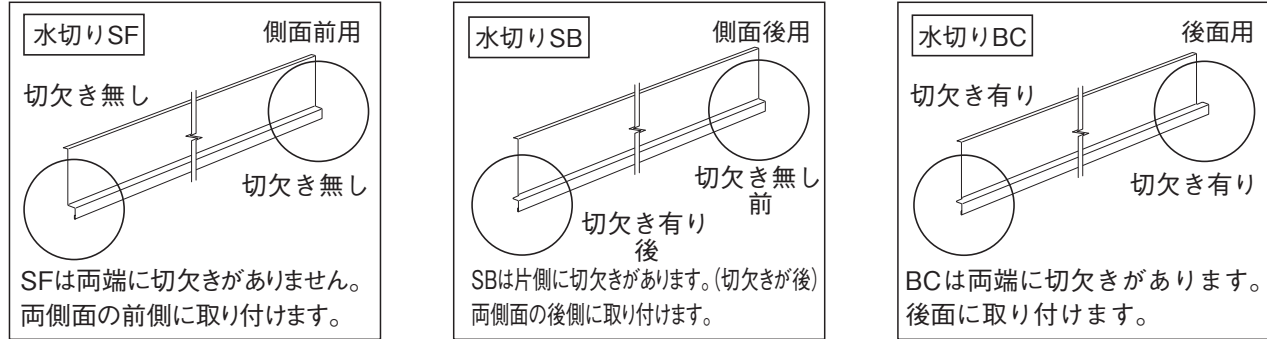
※SOB-11457型・14257型の場合は、本説明書と補足説明書を参照して組み立ててください。

※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

10 水切り及び壁

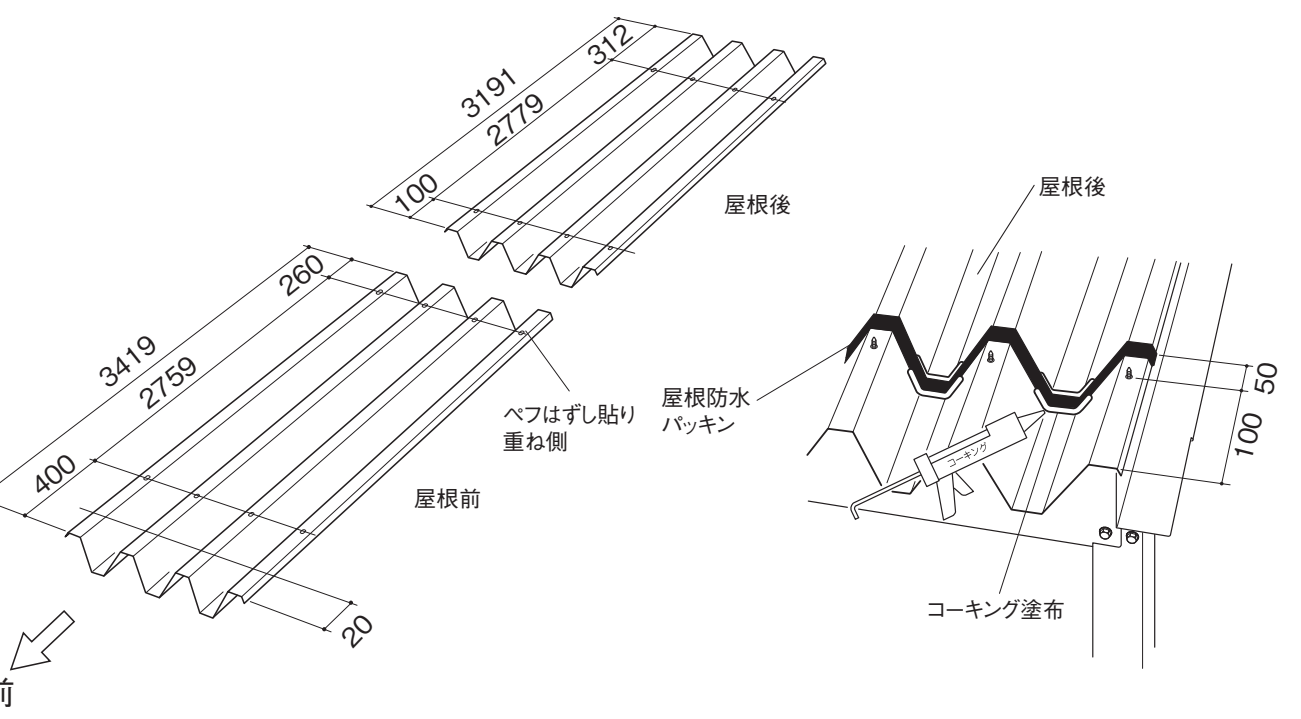
注意 下屋付きの場合、水切りは柱のツラに合わせます。

①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。
※**水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。**



9 屋根及びケラバ接続金具

①屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。
②屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。

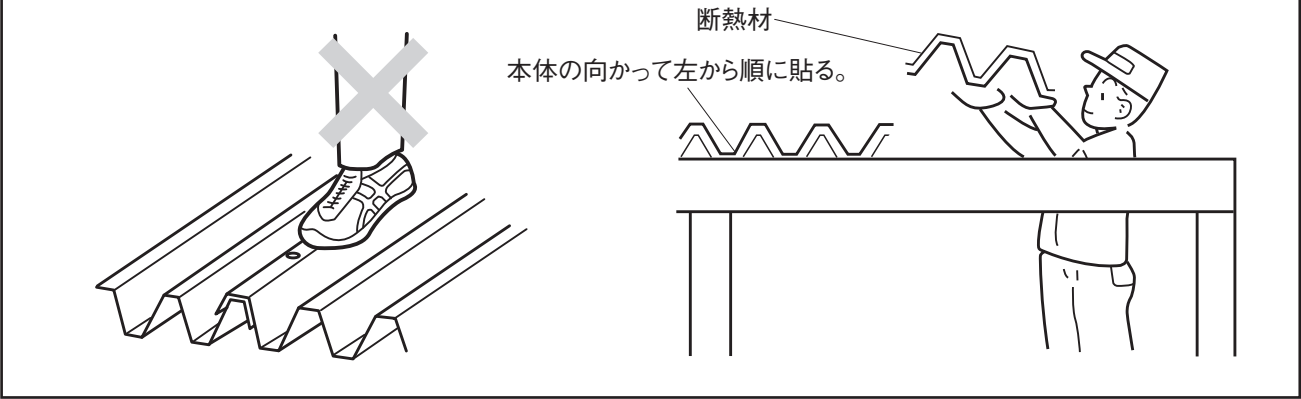


▶屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、防水パッキン、コーキングを**必ず**施してください。

△ 注意

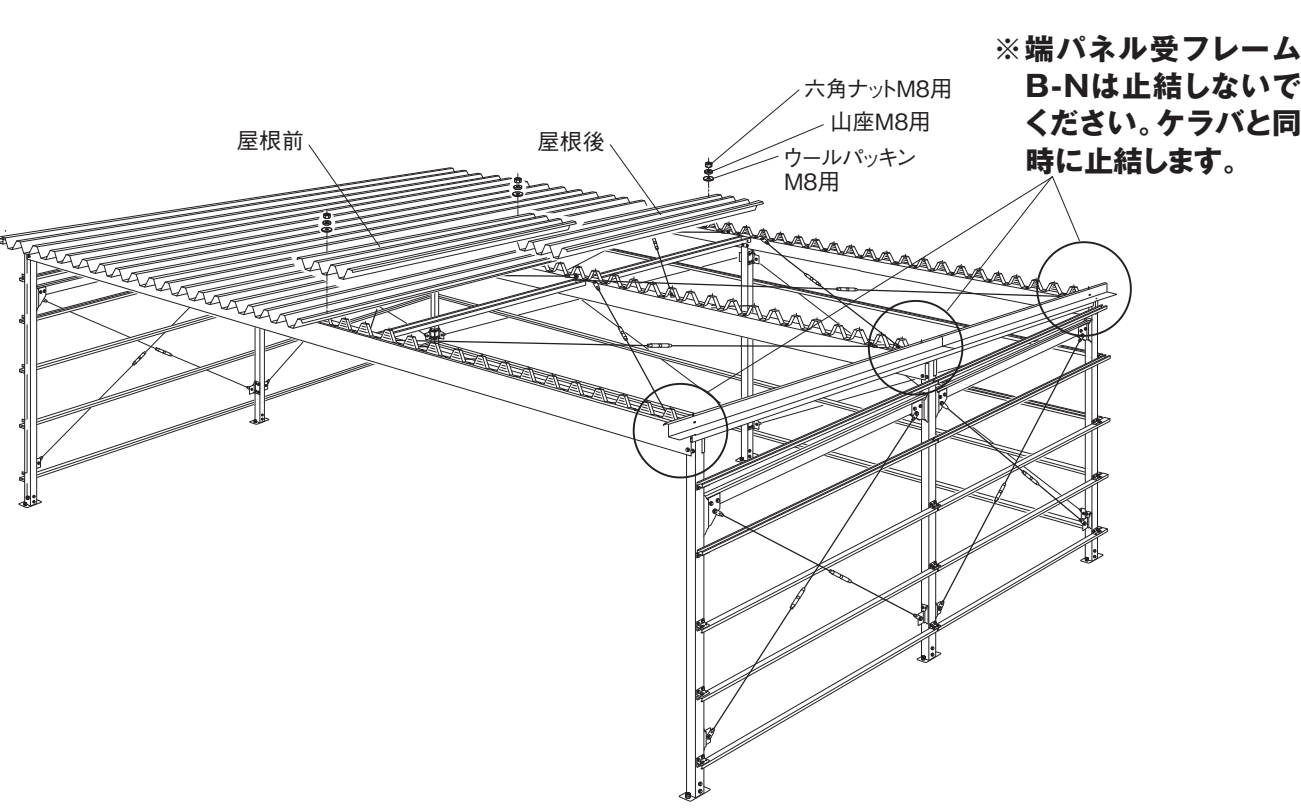
- 屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
- 屋根の裏面に柔らかな断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注意ください。

断熱材の面を上にして貼る位置を決めてから、ひっくり返して取り付けてください。



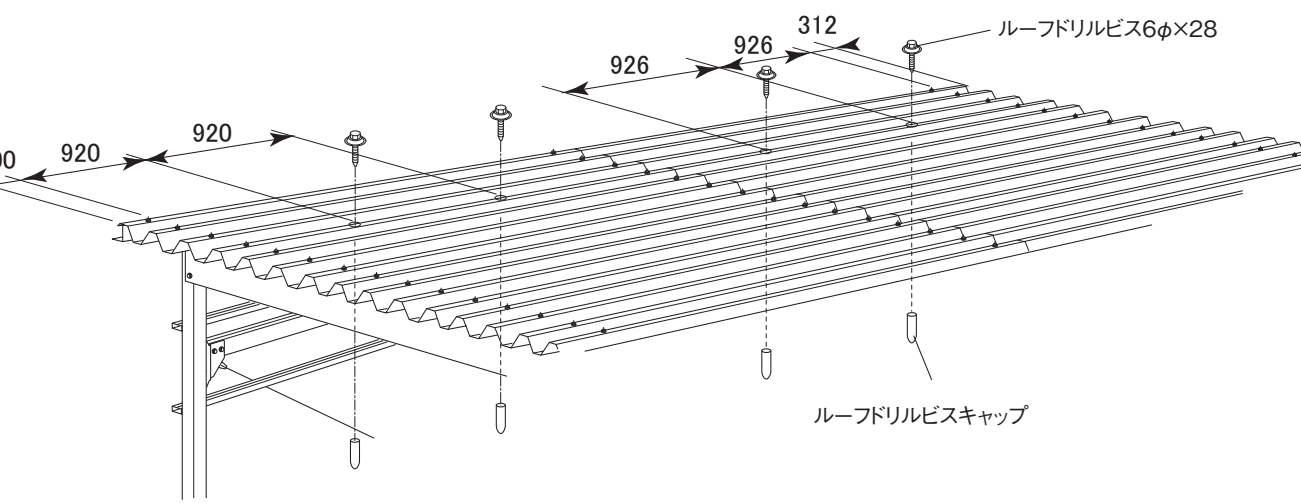
③屋根前も同じようにパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)

注意 屋根をのせたら仮締めし、ブレース等で調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。
(調整方法は⑧ブレースを参照) 調整後、胴縁と屋根を本締めします。



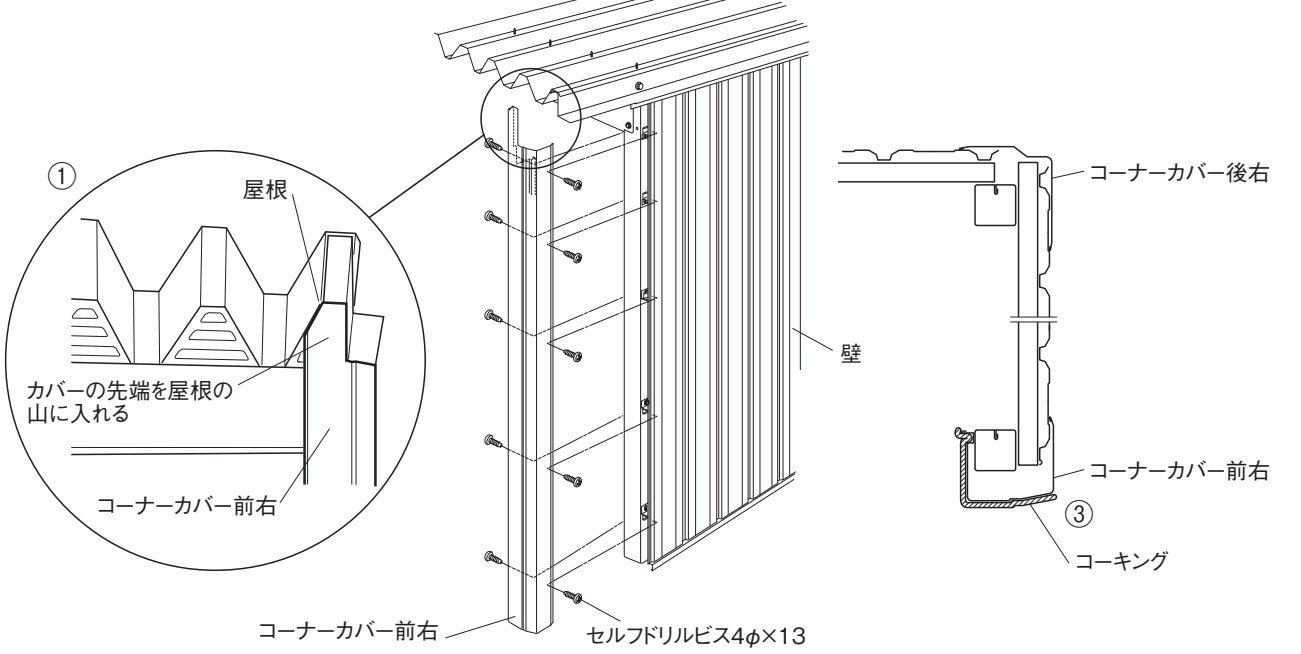
④屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)

※**ルーフトドリルビスは締め過ぎると空回りしますので注意してください。**

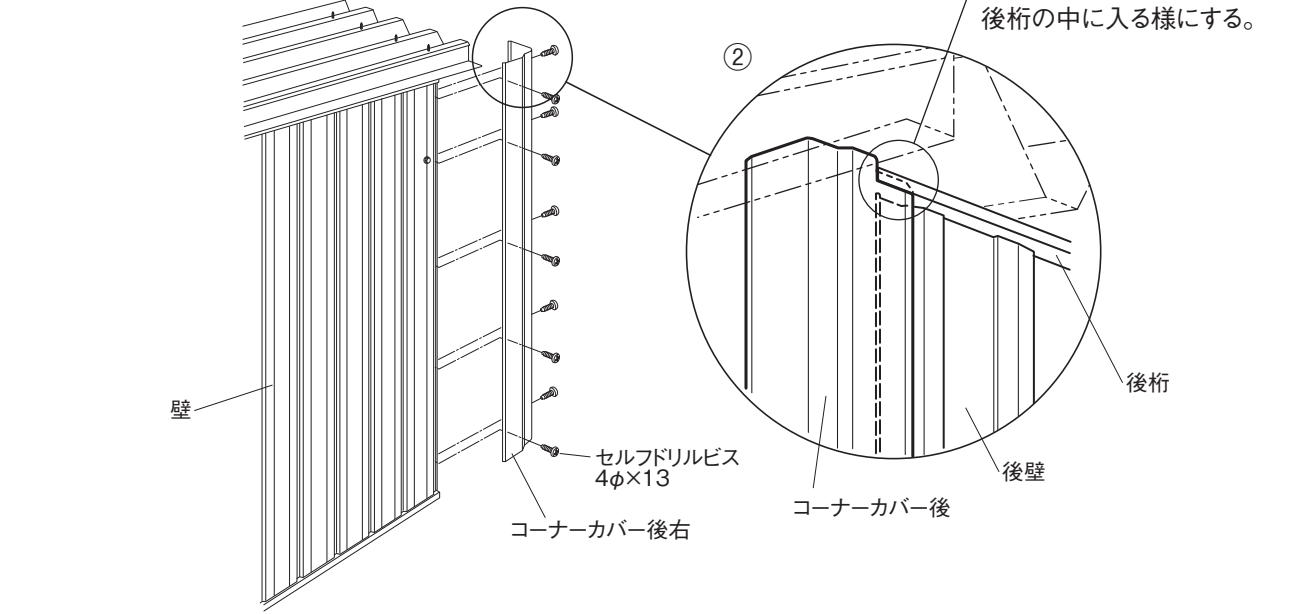


11 コーナーカバー

①コーナーカバー-前右及び前左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って胴縁に固定します。(セルフドリルビス4φ×13)



②コーナーカバー-後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って固定します。(セルフドリルビス4φ×13)
※コーナーカバー-後は取り付けの向きに注意してください。(切り欠きのある方が上で、切り欠きは後桁の方にぎます。)



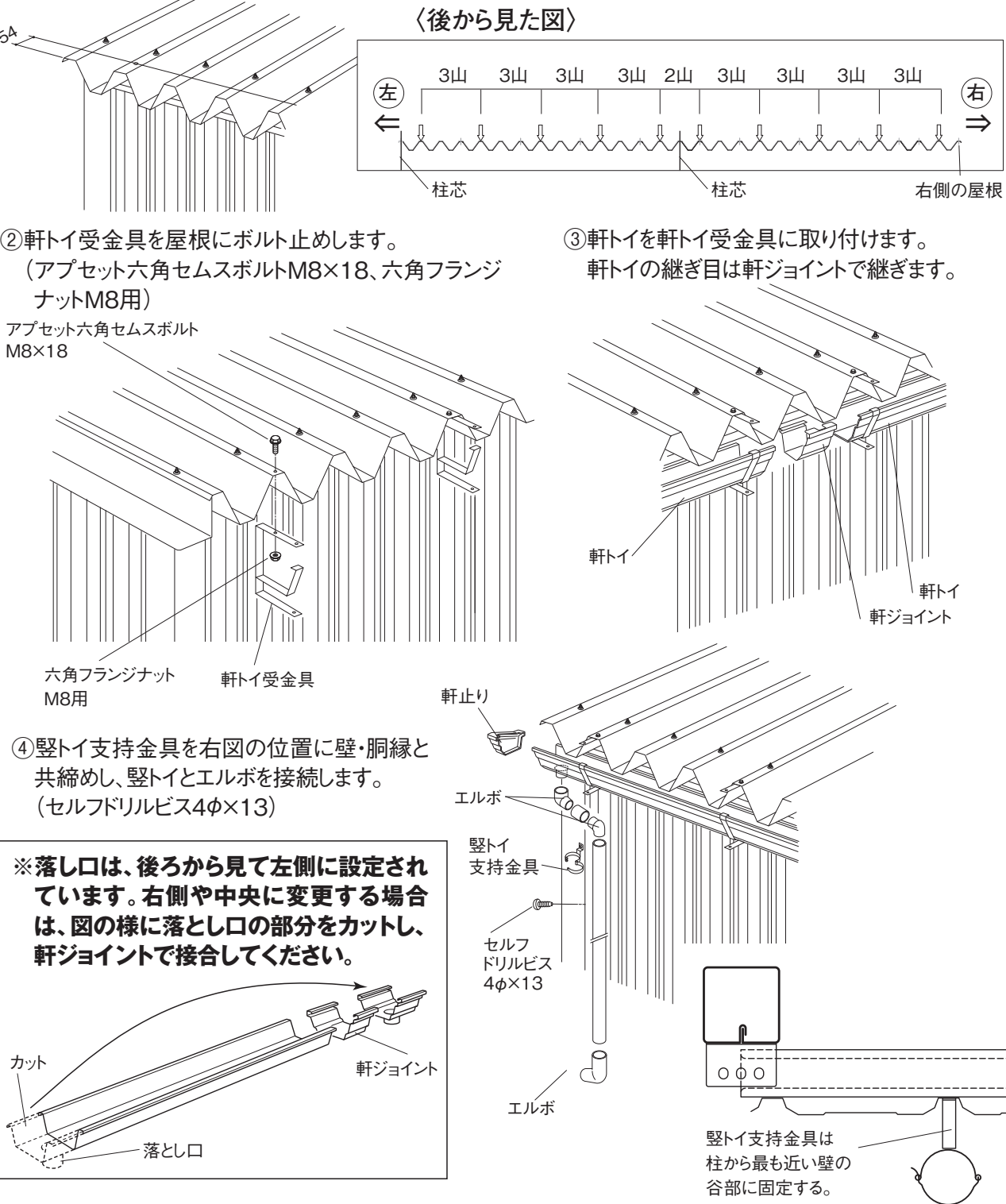
③上図のようにコーキングを行って下さい。

12 トイ

注意 各部材の接続部は水が漏れない様付属のボンドで接着してください。

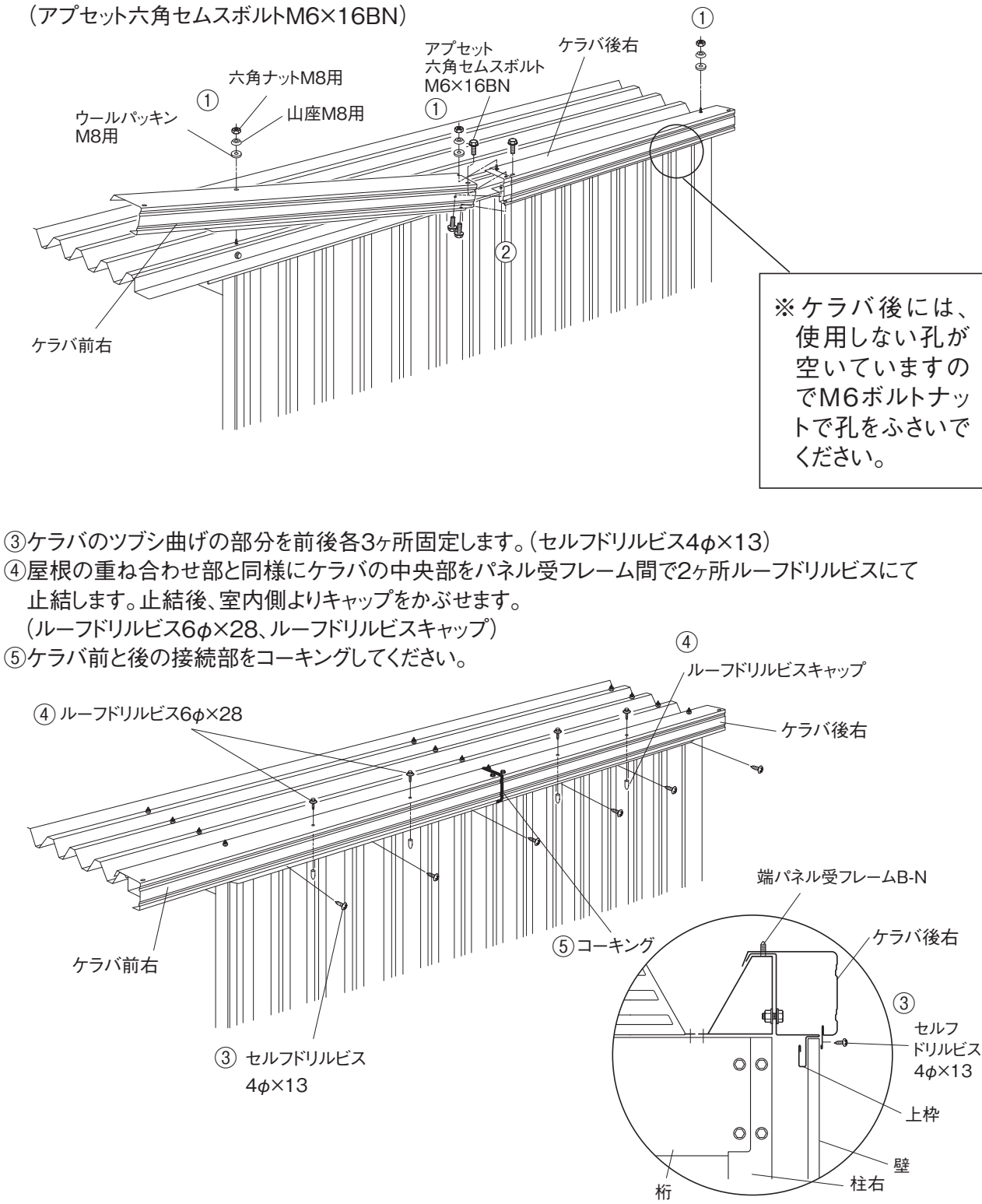
①屋根後部の矢印の位置に10φの孔を明けます。

注意 **孔明け位置を間違えると、鼻隠し後の孔と位置が合いませんので、④鼻隠しを参照し、鼻隠し後を沿えて孔位置を確認してから孔をあけてください。**

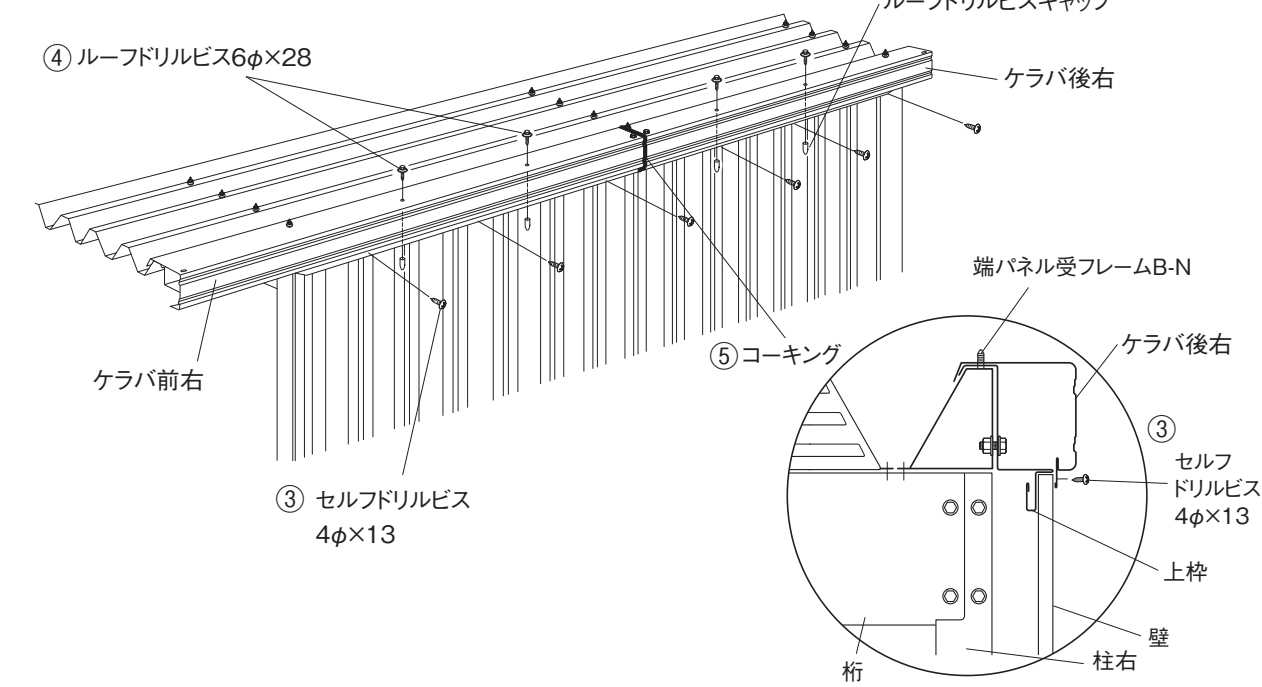


13 ケラバ

- ①ケラバ前右、後右をパネル受フレームの剣先ボルトに取り付けます。
(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)
②中央部分はケラバ包み接続金具に差し込み取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)

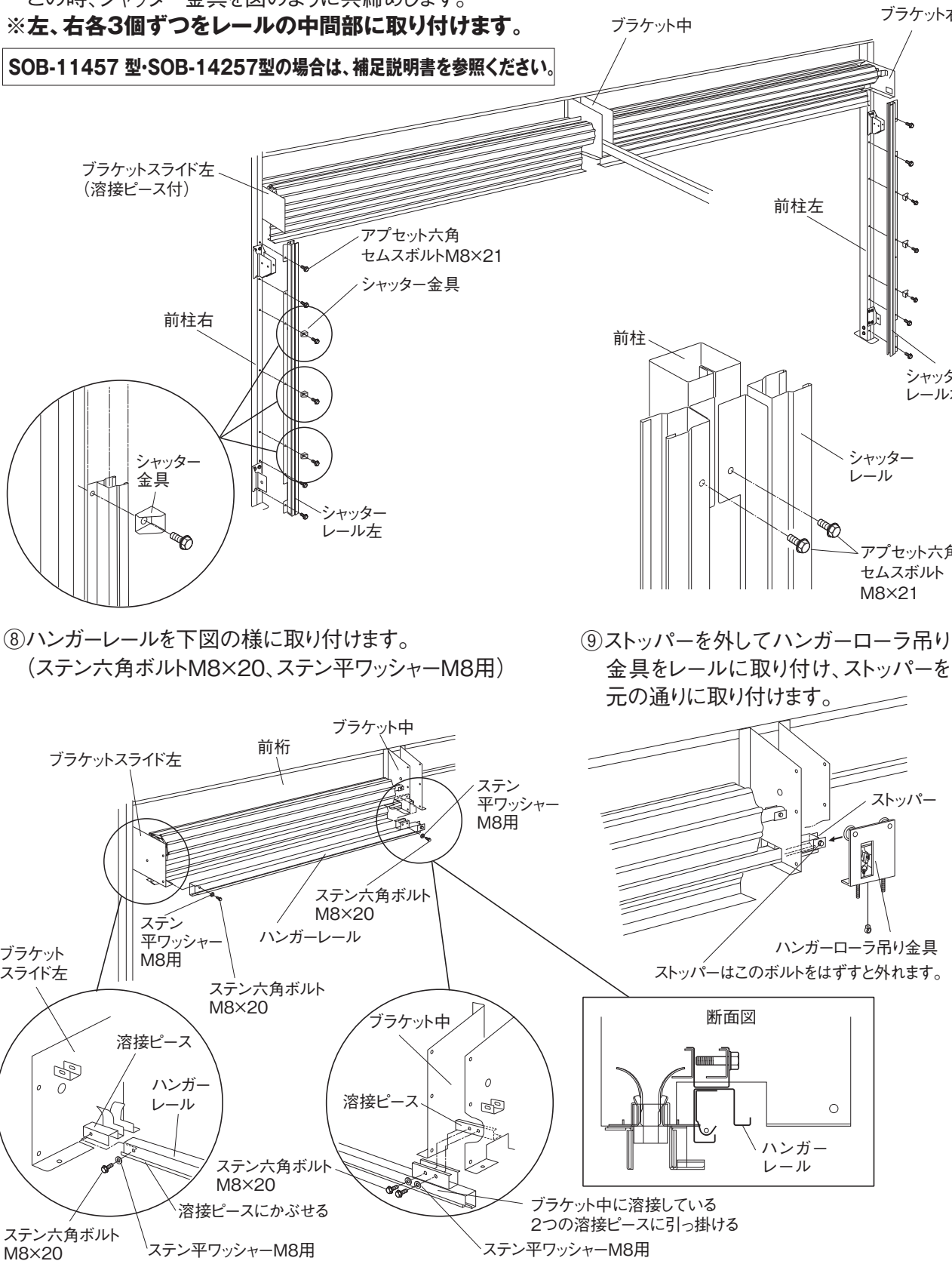


- ③ケラバのツブシ曲げの部分を前後各3ヶ所固定します。(セルフドリルビス4φ×13)
④屋根の重ね合わせ部と同様にケラバの中央部をパネル受フレーム間で2ヶ所ルーフトドリルビスにて止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。
(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)
⑤ケラバ前と後の接続部をコーキングしてください。

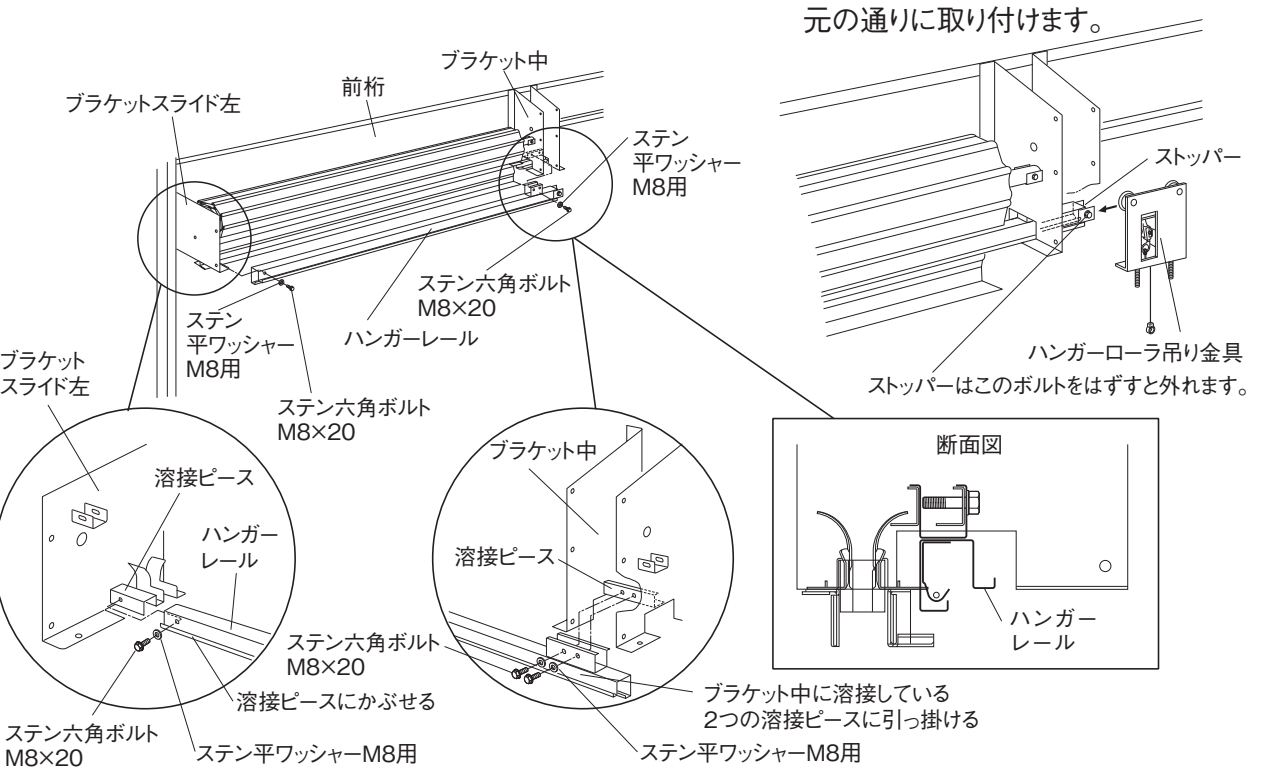


- ⑦シャッターレール左右をブラケット下部に差し込み、柱に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)
この時、シャッター金具を図のように共結します。
※左、右各3個ずつをレールの中間部に取り付けます。

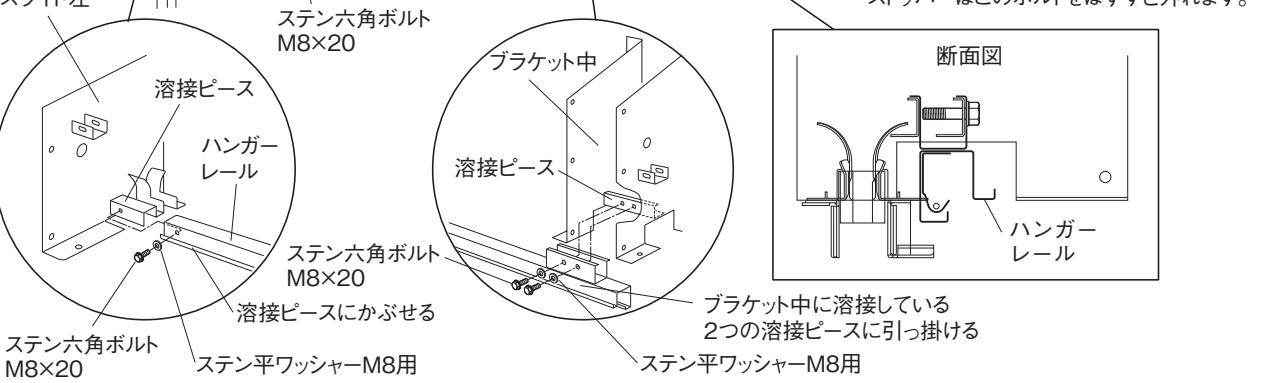
SOB-11457 型・SOB-14257 型の場合は、補足説明書を参照ください。



- ⑧ハンガーレールを下図の様に取り付けます。
(ステン六角ボルトM8×20、ステン平ワッシャーM8用)

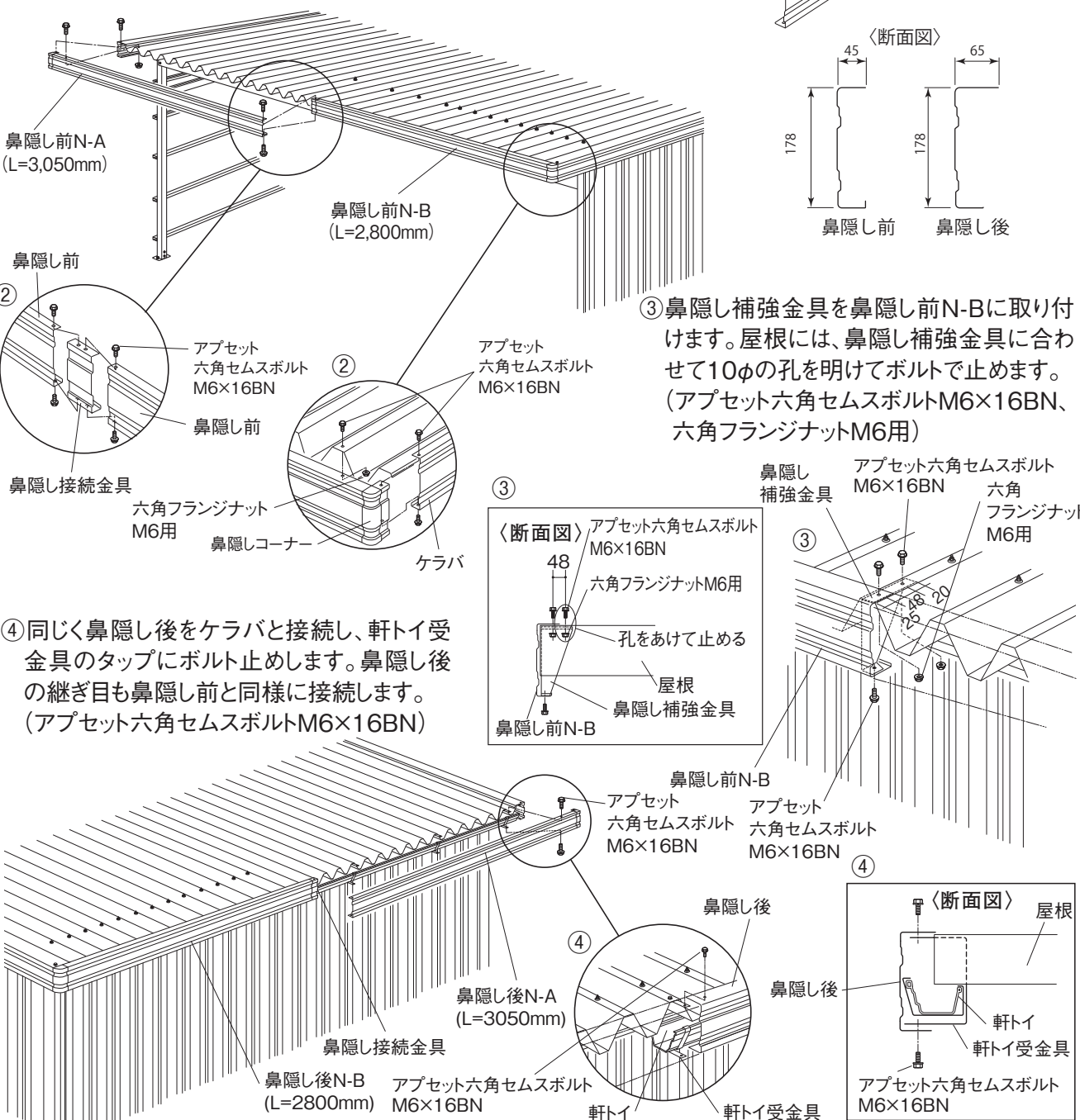


- ⑨ストッパーを外してハンガーローラ吊り金具をレールに取り付け、ストッパーを元の通りに取り付けます。

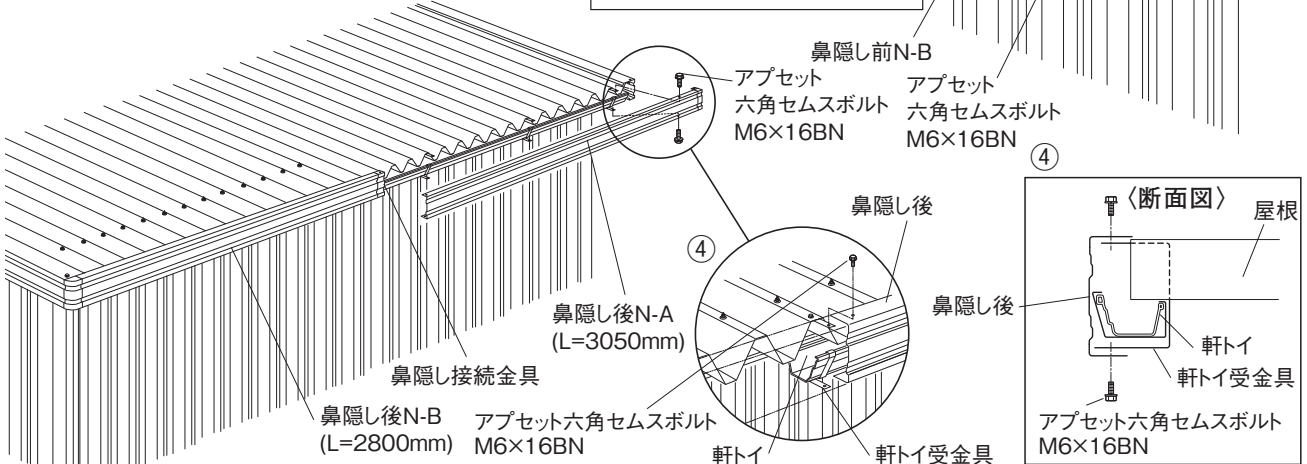


14 鼻隠し

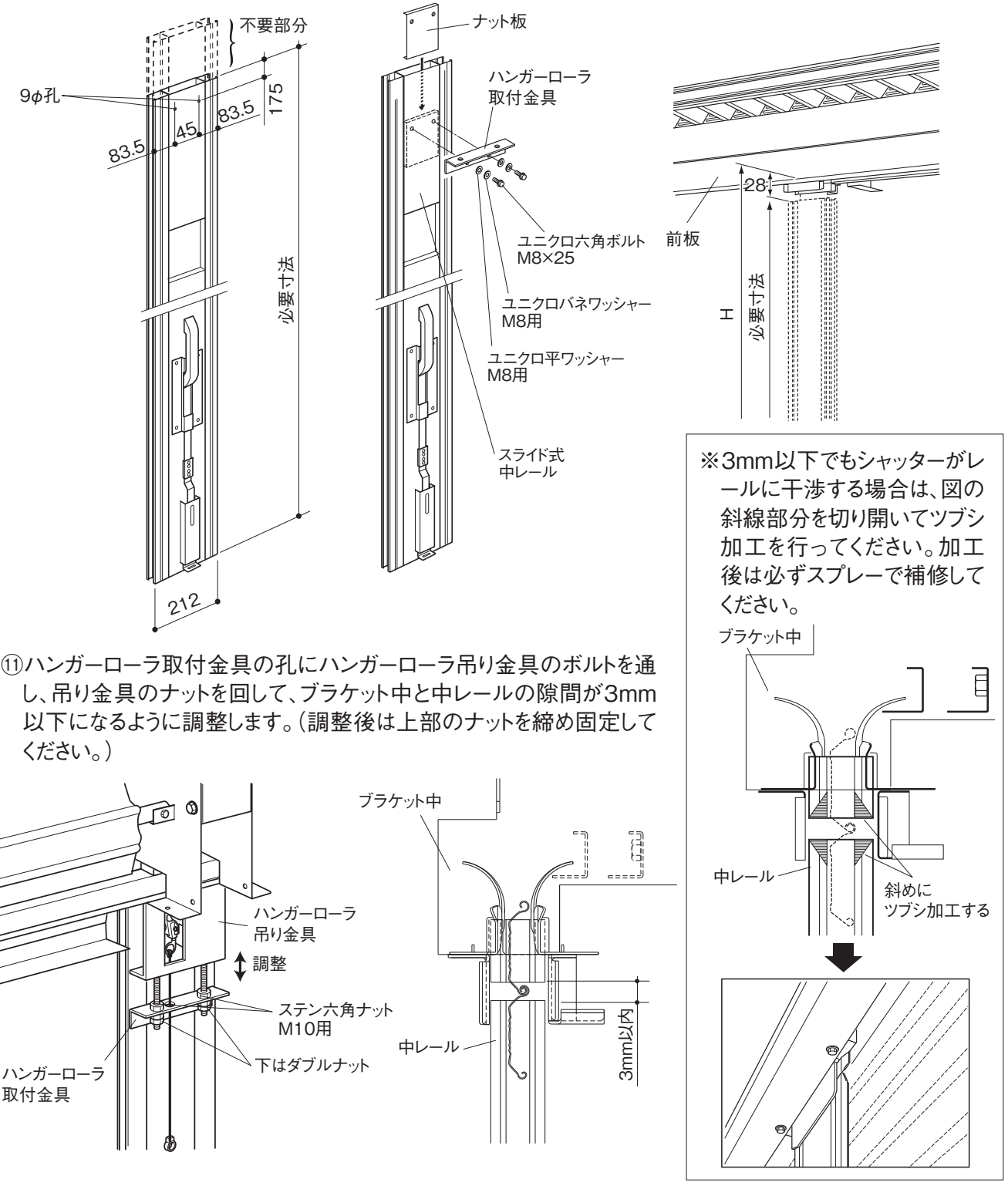
- ①鼻隠しコーナーを、鼻隠し前・後の両端に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)
※鼻隠しコーナーの上下の向きに注意して取り付けください。
②鼻隠し前をコーナーでケラバと接続し、屋根と鼻隠しコーナーにボルト止めします。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN、六角フランジナットM6用)
鼻隠し前の継ぎ目は鼻隠し接続金具で接続します。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)



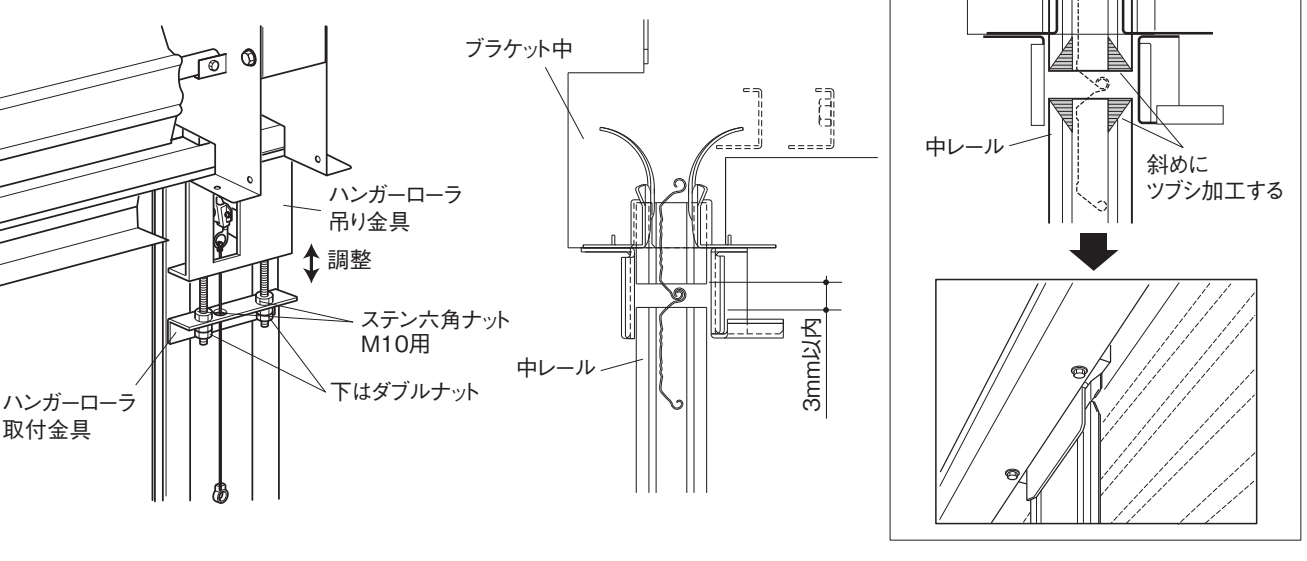
- ④同じく鼻隠し後をケラバと接続し、軒トイ受金具のタップにボルト止めします。鼻隠し後の継ぎ目も鼻隠し前と同様に接続します。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)



- ⑩スライド式中レールの全長が基礎(土間)仕上げ面より長い場合は、切断して調整します。前板の下端から基礎面の高さをHとし、高さHから28mm引いた寸法が必要寸法となります。中レールの下端から計り、必要寸法に切断します。
・切断後、切断面より175mmの位置に9φの孔加工をします。
・ナット板を使用して、ハンガーローラ取付金具を取り付けます。
(ユニクロ六角ボルトM8×25、ユニクロパネワッシャーM8用、ユニクロ平ワッシャーM8用)



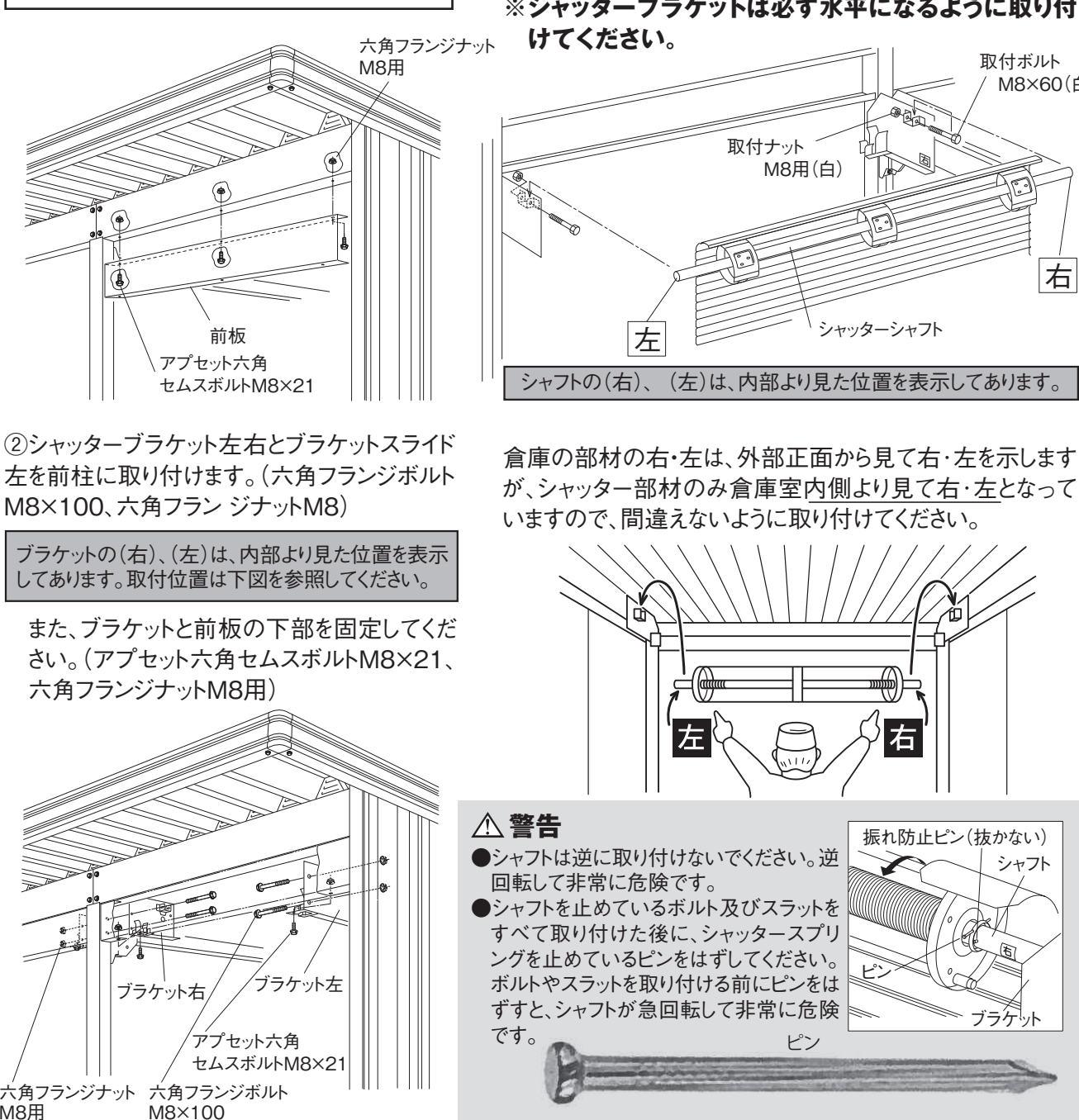
- ⑪ハンガーローラ取付金具の孔にハンガーローラ吊り金具のボルトを通し、吊り金具のナットを回して、ブラケット中と中レールの隙間が3mm以下になるように調整します。(調整後は上部のナットを締め固定してください。)



15 シャッター

- ①前板を桁に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)

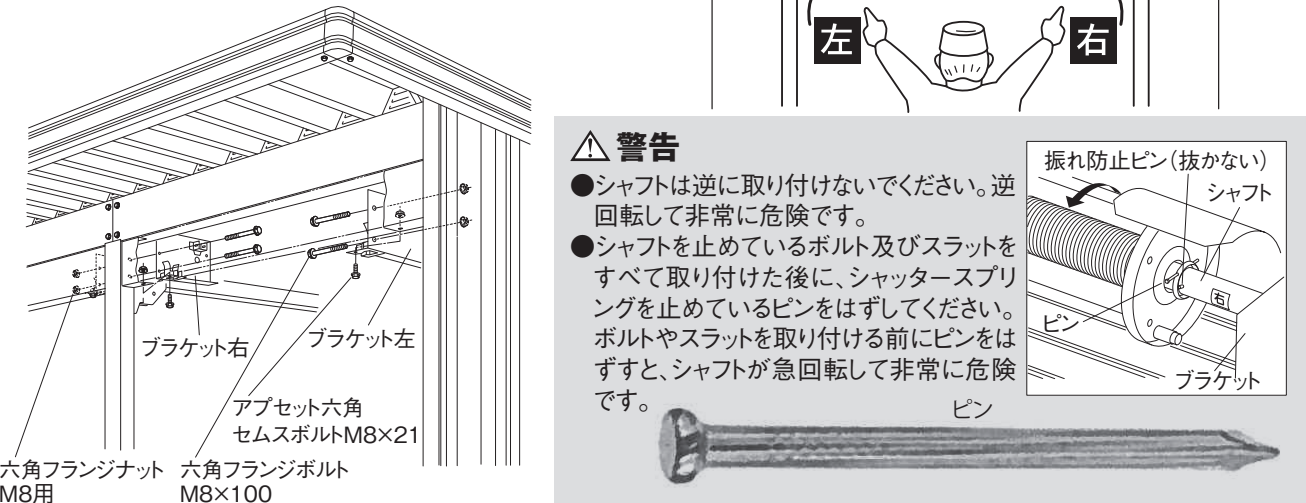
間口の広い前板は桁梱包、狭い前板はシャッターシャフト梱包に入っています。



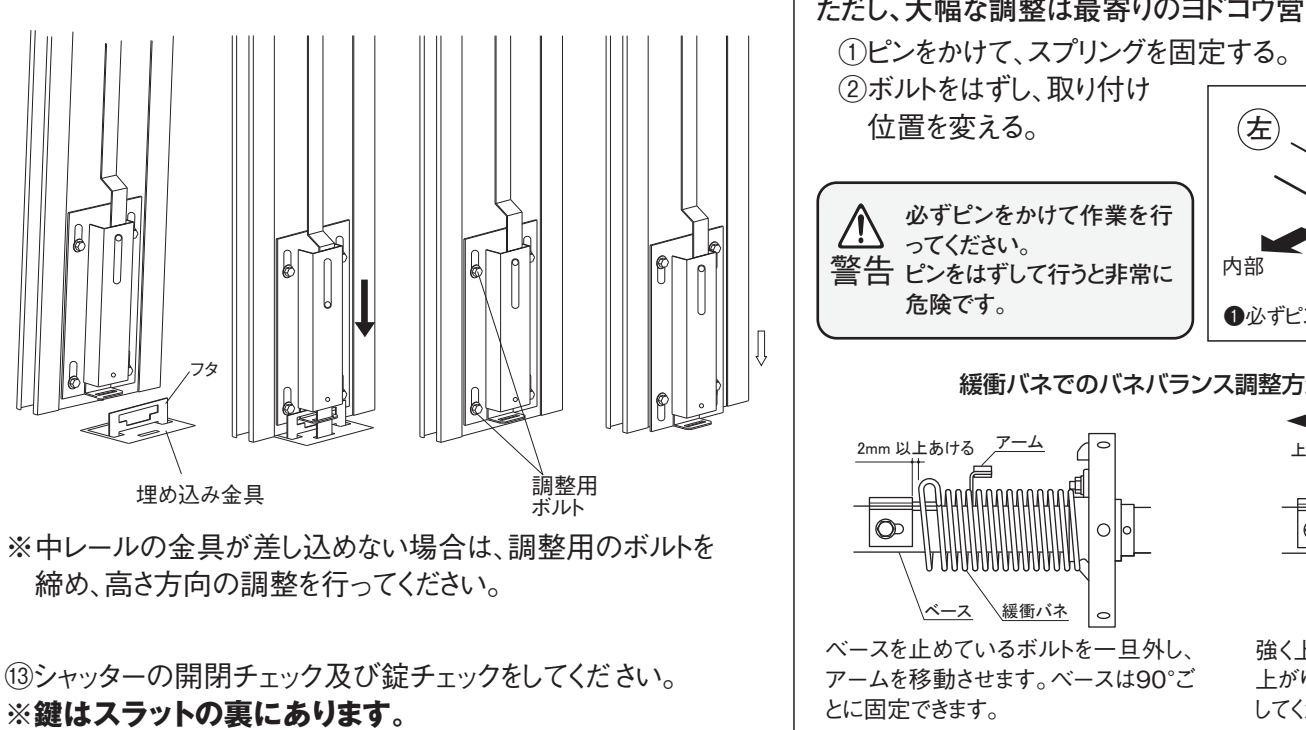
- ②シャッターブラケット左右とブラケットスライド左を前柱に取り付けます。(六角フランジボルトM8×100、六角フランジナットM8)

ブラケットの(右)、(左)は、内部より見た位置を表示してあります。取付位置は下図を参照してください。

- また、ブラケットと前板の下部を固定してください。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)

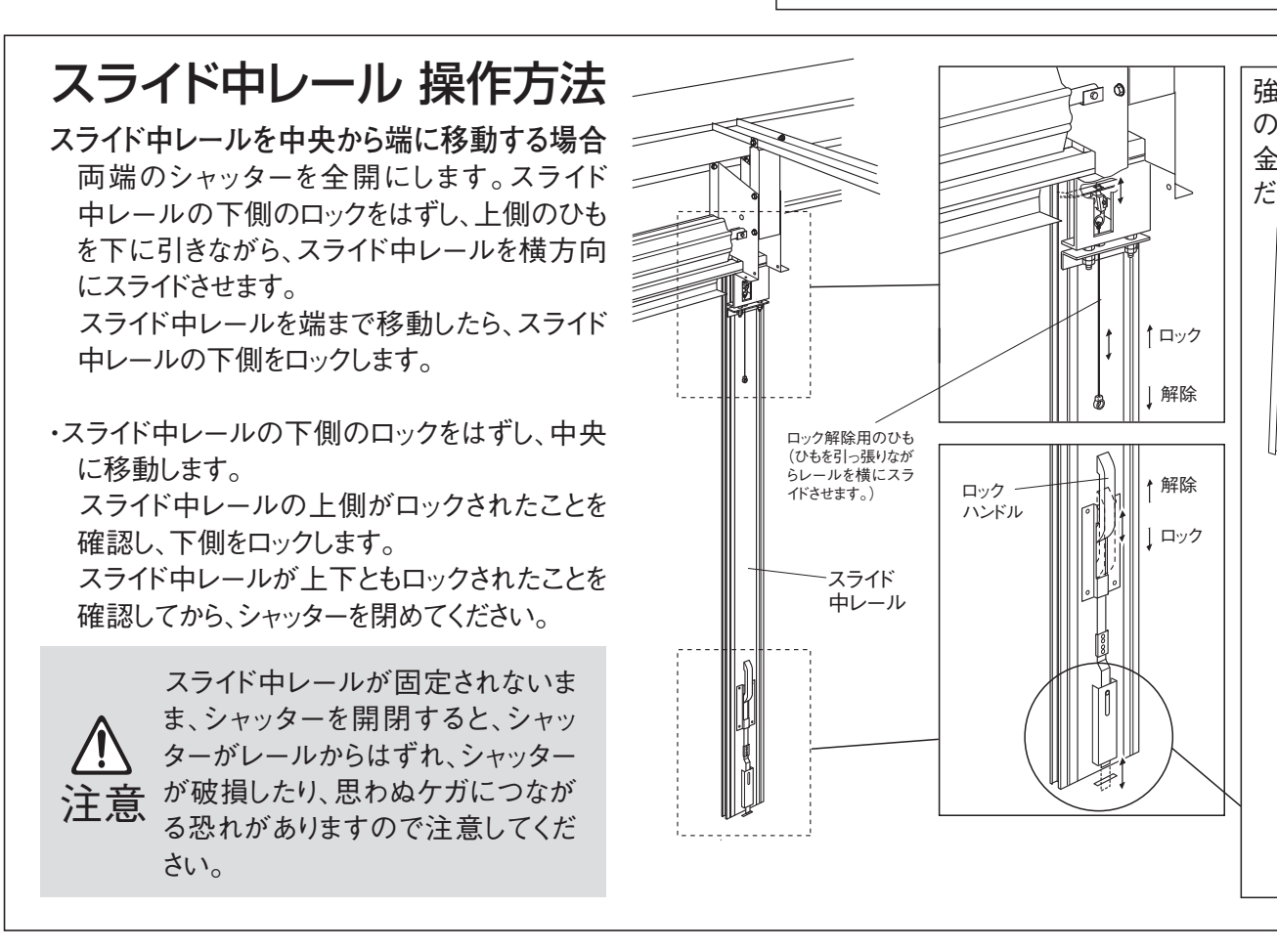


- ⑫埋め込み金具のフタを起こし、中レールの金具がスムーズに入る事を確認してください。



- ※中レールの金具が差し込めない場合は、調整用のボルトを締め、高さ方向の調整を行ってください。

- ⑬シャッターの開閉チェック及び錠チェックをしてください。
※錠はスラットの裏にあります。



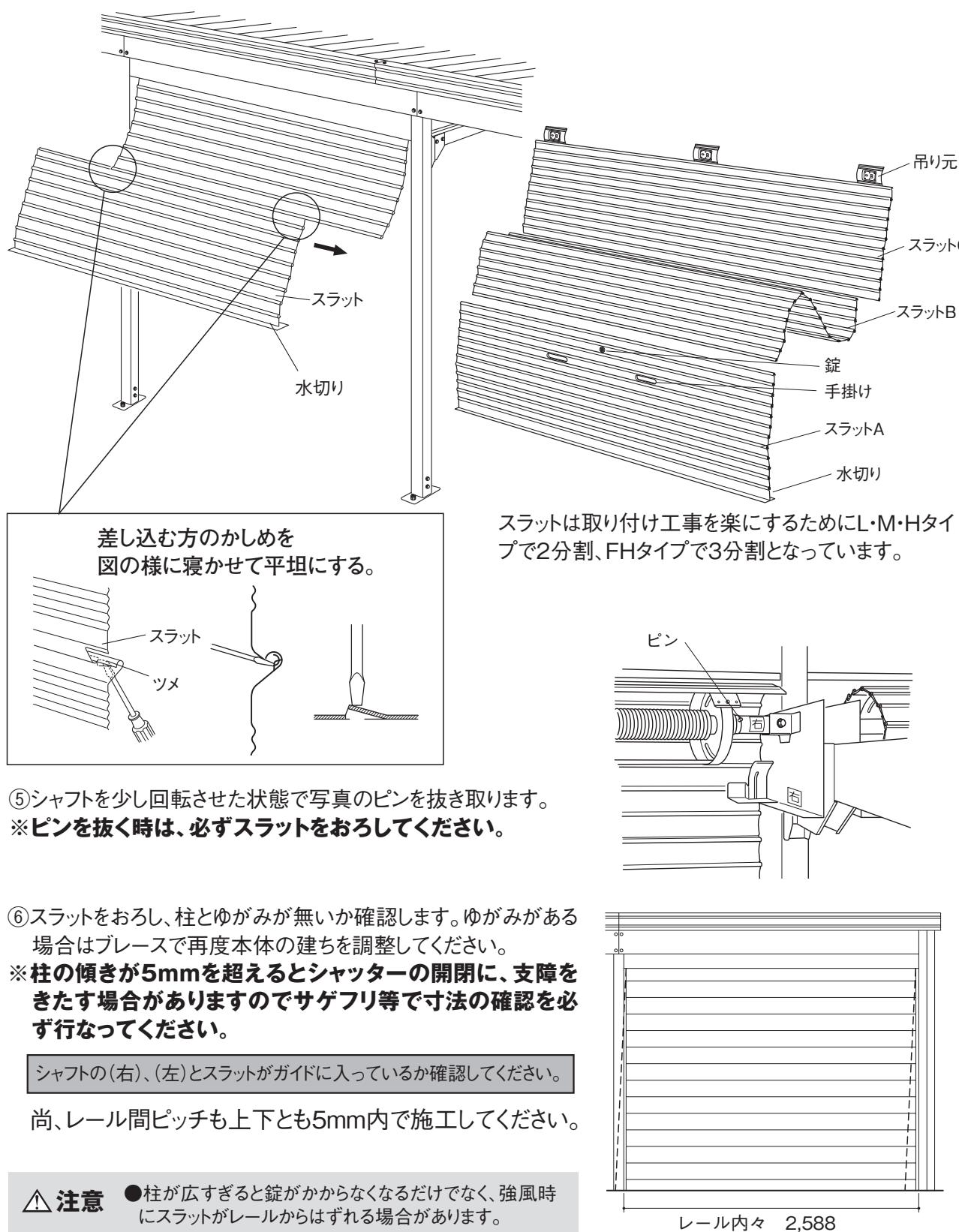
スライド中レール 操作方法

スライド中レールを中央から端に移動する場合
両端のシャッターを全開にします。スライド中レールの下側のロックをはずし、上側のひもを下に引きながら、スライド中レールを横方向にスライドさせます。
スライド中レールを端まで移動したら、スライド中レールの下側をロックします。

- ・スライド中レールの下側のロックをはずし、中央に移動します。
スライド中レールの上側がロックされたことを確認し、下側をロックします。
スライド中レールが上下ともロックされたことを確認してから、シャッターを開めてください。

スライド中レールが固定されないまま、シャッターを開閉すると、シャッターがレールからはずれ、シャッターが破損したり、思わぬケガにつながる恐れがありますので注意してください。

- ④スラットの両端のかしめの片側(差し込む方)だけをペンチやドライバーで寝かせ、平坦にします。
スラットとスラットを平行に上からC→B→Aの順に差し込み、寝かせたかしめをペンチでつぶし、ずれないようにします。



差し込む方のかしめを
図の様に寝かせて平坦にする。

- ⑤シャフトを少し回転させた状態で写真のピンを抜き取ります。
※ピンを抜く時は、必ずスラットをおろしてください。

- ⑥スラットをおろし、柱とゆがみが無いか確認します。ゆがみがある場合はブレースで再度本体の建ちを調整してください。
※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行なってください。

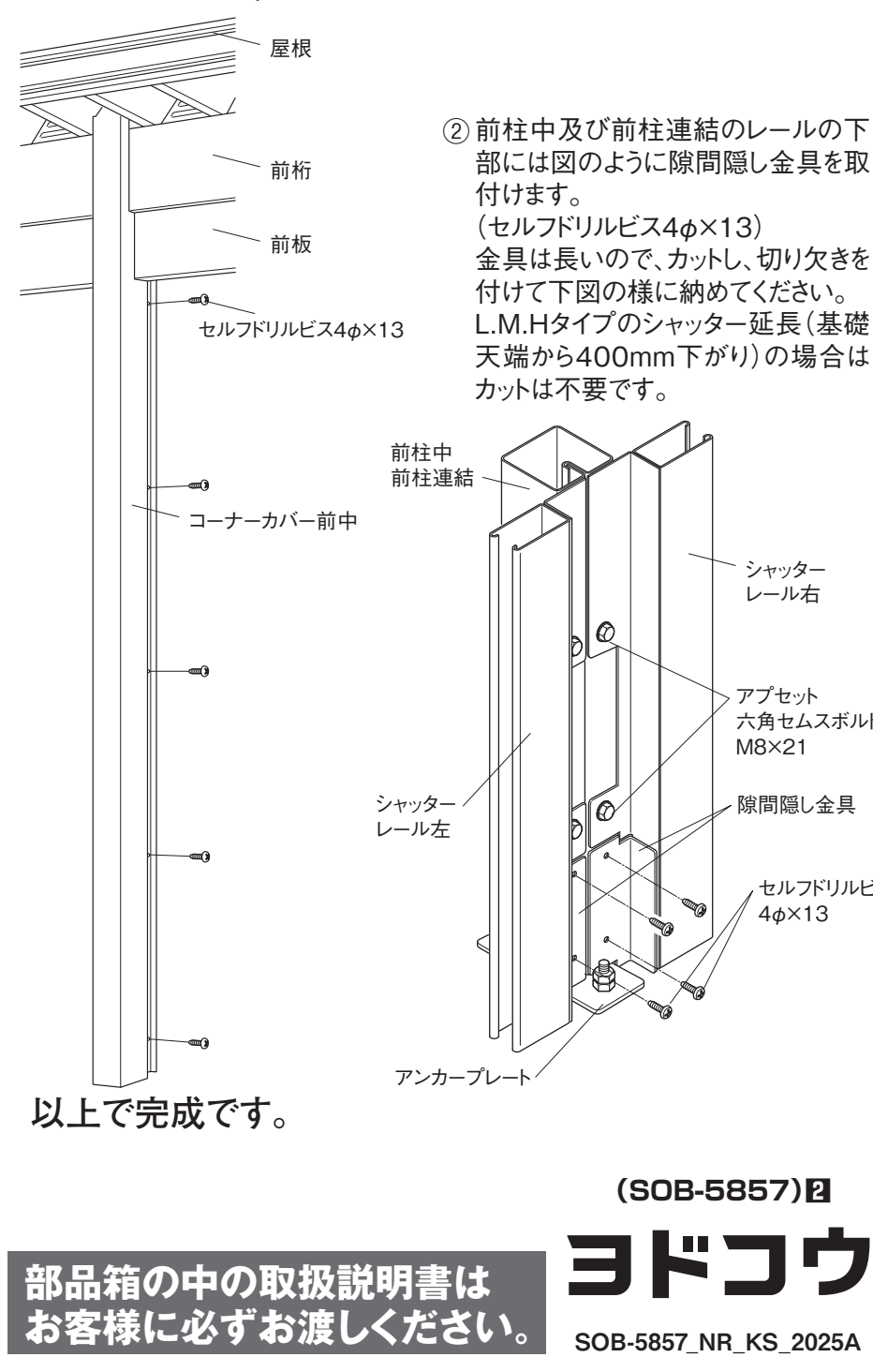
シャフトの(右)、(左)とスラットがガイドに入っているか確認してください。

尚、レール間ピッチも上下とも5mm内で施工してください。

- △注意 ●柱が広すぎると錠がからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールからはずれる場合があります。

16 コーナーカバー前中・隙間隠し金具(布基礎の場合のみ)

- ①連棟タイプの場合、最後に前柱中及び前柱連結にコーナーカバー前中を取り付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)



以上で完成です。

部品箱の中の取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

(SOB-5857) 図

ヨドコウ

SOB-5857_NR_KS_2025A